

2018年度 兵庫県トライアスロン協会 第3回総会理事会議事録

1.開催日時 2019年4月7日(日)9:00-10:45、10:50-12:30

2.開催場所 兵庫勤労市民センター 第3会議室

3.総会定足数

総会総数会長以下 808名(1/6以上 135名)

出席者数 19名(委任状出席含む)

出席 220名、欠席(委任状あり) 203名

出席者222名で定足数を満たし、本会議は成立する

4.理事会定足数

理事会総数:会長以下 34名(過半数 18名)

出席者 19名

欠席者 12名(委任状有)

※出席者 31名(委任状を含む)で、定数を満たします。

5.議事内容

5.1 開会宣言と祝電披露

・渡邊理事長より末松会長、関副会長からの祝電披露

5.2 定足数確認 山本事務局長

・定数数を満たし、理事会は成立する

理事会総数会長以下 xx名(過半数 xx名)

出席者数 xx名(委任状出席含む)

出席 xx名、欠席(委任状あり) xx名

定足数を満たし、本会議は成立する

5.3 会長(副会長)あいさつ

・水野副会長よりあいさつ

5.4 議長選出

・定款により、渡邊理事長を議長に選出した

5.5 議案

第一号議案 2018年度事業報告 酒井副理事長

<説明内容>

・資料に基づき2018年度の事業(大会)報告を行った。

2018年度は台風21号の影響により潮芦屋大会とラブトライアスロン大会が、それぞれ中止及び縮小開催を余儀なくされた。加西大会でのパラ部門の導入という取り組みが成功し、明石アクアスロン大会の参加者数が増加したことが特筆される。

<質疑応答>

・参加者数は、出走者数ではなく申込者数にて集計すべきではないか

⇒ 提示したグラフは申込者数、定員に対する申込数、HTA登録会員数の率等で作成する

・加西市での、アイアンマン最高齢の稲田弘氏の講演会は、地元の老人会の主催であり、市の観光・文化・スポーツ課の主催ではないので、修正願いたい。

<承認>

・資料を修正することを前提に承認された

第二号議案 2018年度収支決算報告 水野副会長

<発表内容>

・監事による監査済の報告書により決算が報告された

<質疑応答>

・県体協の育成事業補助金による収入増加が大きいですが、内容を説明してほしい

⇒スーパーアスリート指定の本多晴飛選手のために拠出された¥977,000 が相当する。これにより、本多選手はニュージーランド合宿を行うことができた

・理事会、総会の出欠の集計を電子化してはどうか。これにより、通信連絡費の44万円を大幅に削減することが期待できる

⇒すべて電子化すると、対応できない一部会員への問合せ対応、とりわけJTU登録の際にWebを使わない会員は数名だが、それ以上に10~20名のWebトラブル対応に対処しなければならない。また、メールが届かない会員もあるので、そのフォローをどうするか等の問題がある

・ネットが十分に普及しているので、メールが届かない人は自己責任で良いと思われる。メールに一気に切り替えることを伝えるのが難しいのであれば、まず、はがきで伝えて、ワンクッションおいてみてはどうか。

・会報の郵送希望者は個人負担の有料にしてはどうか。

・まず、全会員にハガキ送付して、すべて電子化することを伝達してはどうか

⇒酒井副理事長預かりで、Webに詳しい宮本理事等で、複数案を作成、Web上で理事に相談する

<承認>

・上記審議の後、承認された

<末松会長が出席されたので、ごあいさつをいただく>

第三号議案 2019年度事業計画案 渡邊理事長

<説明内容>

・資料に基づいて、昨年度、策定した「HTA理念」にのっとり、今年度の事業活動、とりわけ各大会の競技運営、普及、強化、技術審判等の活動、その他について、計画案のポイントが説明された

<質疑応答>

・有料で開催されているトライアスロン教室へのリンクが、ホームページに掲載されているのは、いかななものか。将来の法人化をめざすなら、何らかの対応が必要である。

・リンクへの誘導をするなら、有料にしてはどうか。

⇒賛助会員になっていただき、有償化する方法がある。

⇒執行部で検討し、定款見直しと併せて検討する。

・明石大会実行委員会では、各委員に市民救急救命士の資格を取っていただいた。他の実行員会でも実施の検討をお勧めする。次回は、7月6日(土)14時から開催の予定なので、参加していただきたい。

<承認>

・上記審議の後、承認された

第四号議案 2019年度予算案 水野副会長

<説明内容>

・会議資料により、予算案が説明された。

<質疑応答>

・2018年度の報告にあった県体協からの補助金は今年度も予定されるのか。

⇒現時点で未定であるが、県体協のSA補助金は、今年度、若干減額され、85万円程度の見込みである。

・3月の認定記録会では、記録測定に若干問題があった。今後の対応のため、スイムの自動計測導入をすれば、いくらぐらいかかるのか。

⇒導入するのであれば、約10万円程度。予備費から捻出できる。

<承認>

・上記審議の後、承認された

第五号議案 2020年度役員改選案 渡邊理事長

<説明内容>

・今年度は理事改選期ではないが、諸事情により2名の辞任申し出があったため、受け入れた。来年の改選期に向け、定款にのっとり、推薦されている理事候補者がいることが説明された

<質疑応答>

・特になし

<承認>

・改選案は承認された

第六号議案 SFTO承認手順について 山本事務局長

<説明内容>

・JTU公認大会のSFTO申し込みにあたり、JTUから各加盟団体の承認が必要である、との通達があった。

これに対応するため、HTA内の承認手順が、資料により説明された

<質疑応答>

・いつから適用される予定か。

⇒2019年度各大会のSFTO申し込みから、この手順を適用して申し込みを行うこととしたい

<承認>

・説明の通り承認された

以下、総会の議事録は

様式を理事会の審議案と同一にし、

<承認>

理事会の決議に従い、承認された。

2018年度 兵庫県トライアスロン協会 総会議事録

1.開催日時 2019年4月7日(日)10:50-12:30

2.開催場所 兵庫勤労市民センター 第3会議室

3.議事内容

第三号愚案の末尾に次項を挿入する

- ・潮芦屋大会の担当理事が未定の潮芦屋大会については、浅田常任理事がスタッフに入り、技術代表と審判長の決定を急ぐ。

第五号議案の後に次項を挿入

<報告事項>

次の事項が報告された

- ・強化委員会 2019年度兵庫県強化指定選手基準について 山本事務局長
- ・パラトライアスロン委員会 今年度のパラトライアスロンの取り組みについて 大西パラ委員長
- ・みんなのチャレンジトライアスロン大会 準備状況 増本常任理事

以上